

1 第1回避難訓練

- (1) 日時 6月12日(火)2校時
- (2) 場所 各教室から校庭へ避難
- (3) 想定
 - ・授業時間中に、リアルタイム情報システムが作動し校舎内外に緊急地震速報が流れた。その後地震が発生し、家庭科室から出火。延焼の恐れがあるため、校庭への避難が必要となった。
- (4) ねらい
 - ・地震が発生した際、安全に素早く避難できる能力と態度を養う。
 - ・非常時にも落ち着いて協力し合い、規律ある集団行動ができるようにする。
- (5) 評価
 - ・避難経路や避難する際の約束「お・は・し」を確認することができた。
 - ・担任の指示通り、落ち着いて、素早く校庭に避難することができた。

2 災害時引渡し訓練

- (1) 日時 7月13日(金)5校時終了後
- (2) 場所 校庭(雨天時は各教室)
- (3) 想定
 - ・授業時間中に、リアルタイム情報システムが作動し校舎内外に緊急地震速報が流れた。その後地震が発生し、校庭へ避難、保護者への引渡しが必要となった。
- (4) ねらい
 - ・地震等の災害が発生し、下校時の児童の安全確保がきわめて困難な状況になった場合に、かけつけた保護者に安全・確実に児童を引渡すことができるようにする。
- (5) 評価
 - ・「緊急用児童引渡し票」で引受人名をチェックしながらスムーズに引渡すことができた。(保護者が参加しなかった児童については、訓練終了後地区ごとに一斉下校を実施)
 - ・訓練日がフリー参観日だったこともあり、たくさんの保護者が訓練に参加した。
 - ・通学路の安全確保が困難な災害発生時や震度5強以上の地震発生時には一斉下校や集団下校は行わず、児童全員の引渡しを行うことを全職員で確認した。



災害時引渡し訓練

3 第2回避難訓練 不審者対応訓練のため省略

4 第3回避難訓練

- (1) 日時 11月2日(金)2校時終了後の休憩時間から3校時
- (2) 場所 校舎内・校庭・体育館から校庭へ避難
- (3) 想定
 - ・休憩時間中に、リアルタイム情報システムが作動し校舎内外に緊急地震速報が流れた。その後地震が発生し、理科室から出火。延焼の恐れがあるため、校庭への避難が必要となった。
- (4) ねらい
 - ・休憩時間中に地震が発生した際、放送をしっかりと聞き、安全に素早く避難できる能力と態度を養う。
 - ・非常時にも落ち着いて協力し合い、規律ある集団行動ができるようにする。
- (5) 評価
 - ・教師の指示がなくとも放送の指示に従って、校庭に避難することができた。
 - ・放送がよく聞こえない場所(校庭や廊下)があったことから、定期的に放送設備の点検をし、確認をする必要がある。
 - ・電源の喪失等、様々な状況を想定した多様な避難訓練を実施する必要がある。

